



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所
コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	5,291	7.9	333	37.8	294	246.0	196	326.7
2023年9月期第1四半期	4,906	26.4	241	4.6	85	△65.4	46	△70.0

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 8百万円(—%) 2023年9月期第1四半期 △344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第1四半期	円 銭 14.87	円 銭 —
2023年9月期第1四半期	円 銭 3.48	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年9月期第1四半期	百万円 14,808	百万円 6,150	% 40.9
2023年9月期	百万円 15,197	百万円 6,300	% 40.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 6,054百万円 2023年9月期 6,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 17.00
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	2.7	1,000	15.0	990	1.8	720	51.4	54.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期1Q	13,410,000株	2023年9月期	13,410,000株
2024年9月期1Q	200,227株	2023年9月期	200,227株
2024年9月期1Q	13,209,773株	2023年9月期1Q	13,209,773株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年10月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、個人消費の回復に加え円安基調を追い風としたインバウンド需要の増加もあり景気は緩やかな回復がみられました。一方でウクライナ・ロシア情勢の長期化や中東紛争の勃発により地政学リスクの高まりに加えて、急激な円安、原材料価格や光熱費の高騰による物価上昇など、企業経営を取り巻く環境の先行きは依然として不透明なものとなっています。

当連結会計年度は、ここ数年推進し成果を上げている一連の施策(商品力強化による「粧美堂」ブランドの価値向上と重点販売先の「モノづくりのパートナー」としての地位獲得)を引き続き推進してまいります。また、全社横断的な組織であるDX推進室をこの1月から立ち上げ社内のDX化を推進し、一層の生産性向上に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前述した一連の施策やインバウンド効果により、対前年同期比7.9%増の5,291,918千円と増収となり売上総利益額は1,426,385千円で対前年同期比7.8%増となりました。同利益率は円安により売上原価が上昇したものの、高付加価値品へのシフトや当社が最も得意とする商品提案から商品企画、デザイン、生産、物流と短期間で商品化する当社の高回転型ビジネスが価格の改定に寄与した結果、27.0%と対前年同期比横ばいを確保することができました。販売費及び一般管理費は、商流が増加したことに伴い販売促進費、物流費などは増加したものの効率的な業務運営に努め対前年同期比1.1%増の1,093,313千円と微増に留まったため、営業利益は対前年同期比37.8%増の333,071千円となりました。経常利益は前年同期に計上した為替デリバティブ取引の時価評価に伴う評価損が消滅したことなどを受けて対前年同期比246.0%増の294,952千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は196,372千円(対前年同期比326.7%増)と大幅な増益となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントではありますが、取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。なお、ここ数年「化粧品」の売上が大幅に伸びていることもあり当第1四半期連結会計期間より「化粧品・化粧雑貨」の区分につきましては「化粧品」と「化粧雑貨」に分けて開示を致します。

①化粧品

当分類にはメイク関連化粧品、ネイル関連化粧品、ヘアケア関連化粧品などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、重点販売先への営業強化により、均一ショップ向けのメイク関連化粧品やバラエティショップ向けの人気キャラクターをあしらったスキンケア用品、キッズコスメなど化粧品全般が前期に引き続き好調に推移し2,082,966千円(対前年同期比10.1%増)の増収となりました。

②化粧雑貨

当分類にはメイク関連雑貨、ネイル関連雑貨、ヘアケア関連雑貨などの売上高が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、化粧品同様に重点販売先への営業強化によりヒートカーラーやネイル関連雑貨などが好調に推移し1,745,468千円(対前年同期比15.4%増)と増収となりました。

③コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、好採算のカラーレンズが好調に推移し717,069千円(対前年同期比13.9%増)となりました。

④服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、バッグ、ポーチ類の導入の遅れなどから590,892千円(対前年同期比12.4%減)となりました。

⑤その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品などの売上が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、入園入学用品の導入タイミングの期ずれなどから、155,521千円(対前年同期比21.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて388,848千円減少し、14,808,560千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて700,772千円減少し、11,302,767千円となりました。

これは主に、有価証券が100,000千円、商品及び製品が432,865千円増加したことに対し、現金及び預金が975,645千円、為替予約が335,118千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて311,923千円増加し、3,505,792千円となりました。

これは主に、投資有価証券が337,630千円増加したこと等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて239,009千円減少し、8,658,255千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて210,372千円増加し、6,026,450千円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が133,371千円、短期借入金が800,000千円増加したことに対し、1年内返済予定の長期借入金130,000千円、未払法人税等が365,241千円、その他が129,249千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて449,382千円減少し、2,631,805千円となりました。

これは主に、長期借入金423,500千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて149,838千円減少し、6,150,304千円となりました。

これは主に、利益剰余金が37,854千円、為替換算調整勘定が23,360千円増加したことに対し、繰延ヘッジ損益が209,758千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月13日に公表いたしました2024年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,259,425	4,283,779
受取手形及び売掛金	3,818,722	3,825,396
有価証券	—	100,000
商品及び製品	1,737,770	2,170,635
原材料及び貯蔵品	207,130	217,174
為替予約	643,229	308,110
その他	343,144	402,552
貸倒引当金	△5,881	△4,881
流動資産合計	12,003,540	11,302,767
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,307,893	1,307,893
その他(純額)	1,038,569	1,042,902
有形固定資産合計	2,346,463	2,350,796
無形固定資産		
のれん	201,663	194,460
その他	26,822	25,584
無形固定資産合計	228,485	220,045
投資その他の資産		
投資有価証券	225,933	563,563
その他	393,492	371,892
貸倒引当金	△505	△505
投資その他の資産合計	618,920	934,950
固定資産合計	3,193,868	3,505,792
資産合計	15,197,409	14,808,560
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,824,233	1,957,604
短期借入金	900,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,624,000	1,494,000
未払法人税等	398,795	33,553
賞与引当金	153,300	54,792
その他	915,748	786,499
流動負債合計	5,816,077	6,026,450
固定負債		
長期借入金	2,703,500	2,280,000
役員退職慰労引当金	127,950	133,025
資産除去債務	71,275	71,415
その他	178,462	147,364
固定負債合計	3,081,188	2,631,805
負債合計	8,897,265	8,658,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,892,569	4,930,423
自己株式	△81,071	△81,071
株主資本合計	5,621,310	5,659,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,847	66,004
繰延ヘッジ損益	395,607	185,848
為替換算調整勘定	119,818	143,179
その他の包括利益累計額合計	585,273	395,032
非支配株主持分	93,560	96,107
純資産合計	6,300,143	6,150,304
負債純資産合計	15,197,409	14,808,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,906,717	5,291,918
売上原価	3,583,382	3,865,533
売上総利益	1,323,335	1,426,385
販売費及び一般管理費	1,081,661	1,093,313
営業利益	241,673	333,071
営業外収益		
受取利息	4,010	5,975
受取配当金	2,186	2,318
受取手数料	1,973	2,226
不動産賃貸収入	2,640	2,694
その他	278	2,586
営業外収益合計	11,089	15,800
営業外費用		
支払利息	6,709	5,658
不動産賃貸費用	401	369
為替差損	159,960	44,310
その他	442	3,581
営業外費用合計	167,514	53,920
経常利益	85,248	294,952
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,015
特別利益合計	—	8,015
特別損失		
投資有価証券売却損	—	4,869
特別損失合計	—	4,869
税金等調整前四半期純利益	85,248	298,098
法人税、住民税及び事業税	8,865	23,275
法人税等調整額	34,863	78,298
法人税等合計	43,729	101,574
四半期純利益	41,519	196,524
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,503	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,022	196,372

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	41,519	196,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,049	△3,843
繰延ヘッジ損益	△414,715	△209,758
為替換算調整勘定	19,364	25,755
その他の包括利益合計	△386,301	△187,845
四半期包括利益	△344,781	8,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△340,151	6,131
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,630	2,547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

事業分離

(子会社持分の譲渡)

当社の連結子会社である粧美堂日用品（上海）有限公司（以下「上海粧美堂」）は、2023年10月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月12日に上海粧美堂の子会社（当社の孫会社）である壹見健康科技（上海）有限公司（以下「壹見」）の持分の一部を譲渡する旨の出資持分譲渡契約を締結し、2024年1月2日に持分譲渡を行いました。これに伴い、壹見は2024年9月期第2四半期連結累計期間より当社の連結子会社から除外されます。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏

(注) 杭州悠可化粧品有限公司は持分譲渡契約に基づく全ての権利及び義務を同社のグループ会社である上海悠期品牌管理有限公司に譲渡しております。

(2) 分離する事業の内容

コンタクトレンズの製造及び販売

(3) 事業分離を行う主な理由

当社は、2019年4月に中国市場拡大を目的として、上海に壹見健康科技（上海）有限公司を設立いたしました。中国の天猫に旗艦店を出店し、B to CのECサイトでコンタクトレンズの販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上海粧美堂が保有する壹見の持分51%のうち、41%を杭州悠可化粧品有限公司及び戴氏に譲渡いたしました。

本件持分の譲渡により、経営資源の選択と集中を図ることで、当社グループの企業価値を更に高められるものと考えております。

(4) 事業分離日

2024年1月2日（みなし売却日2024年1月1日）

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする持分譲渡

2. 会計処理の概要

(1) 移転損益の金額（予定）

99,685千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	296,206千円
固定資産	45,730千円
資産合計	341,936千円
流動負債	149,632千円
負債合計	149,632千円

3. 分離する事業が含まれている報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	92,185 千円
営業利益	973 千円